

京都みつばちガーデン 推進プロジェクト、 進行中！



平成23年10月、屋上庭園に日本固有種であるニホンミツバチの巣箱がやってきました。京都みつばちガーデン推進プロジェクトの始まりです。

このプロジェクトは、ミツバチが蜜を集めやすい、花やみどりがあふれるまちなかを目指そうと企画され、養蜂を指導いただく京都学園大学、養蜂を担当する「京(みやこ)・みつばちの会」、中京区役所が連携して取り組んでいます。

「京・みつばちの会」の主要メンバーは屋上庭園をお世話いただいている「中京・花とみどりの会」。養蜂の経験がある方はおらず、ゼロからのスタートでした。

群れの突然消滅や病気での全滅などのハプニングはありましたが、今では毎年 はちみつが取れるようになりました。

これからもプロジェクトは続きます！



はちみつが初めて採取できたのは…

平成24年9月でした。ニホンミツバチのはちみつは市販されているセイヨウミツバチのはちみつに比べると採れる量が少ないのですが、味わっていただいた方からは「濃厚な味でおいしい!」と好評の声があがります♪平成25年からは毎年9月に巣箱から、はちみつを採取する採蜜見学会を屋上庭園で開催しています。来場者には採蜜作業を見ていただき、採れたてはちみつをテイastingしていただきます！



採取したはちみつを使ったPR物品(非売品)も誕生しました! 70ccのはちみつが入った小瓶を特注の風呂敷で包んでいます♪



京都みつばちガーデン推進プロジェクト、進行中！